

ろくろせやまこふんぐん 4 六呂瀬山古墳群

所在地：坂井市丸岡町上久米田

調査原因：史跡整備に向けた範囲確認

調査期間：令和3年10月

調査主体：坂井市教育委員会

調査面積：35.6 m²

時代：古墳時代

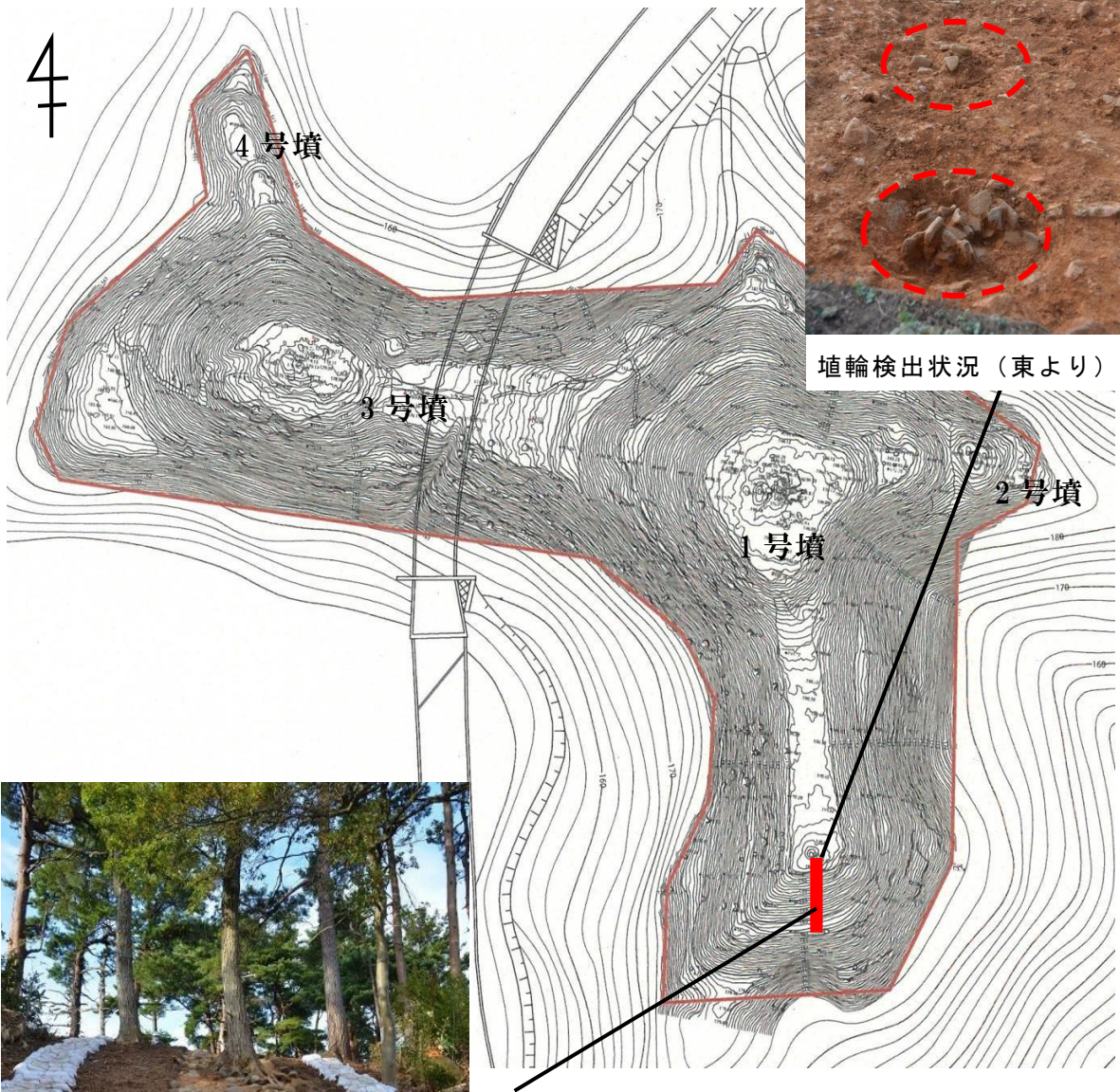


位置図 (S=1/50,000)

遺跡について 六呂瀬山古墳群は、北陸最大級とされる全長約 140mの規模をもつ1号墳（前方後円墳）を含む4基で構成される前期古墳群です。古墳時代の越前地域を知るうえで、重要な遺跡と評価され、平成2年に国指定史跡となりました。

主な遺構 調査対象である六呂瀬山1号墳は、標高約 200mの山頂に立地しており、自然の尾根を利用して築造されています。今回調査を実施した前方部では、2段築成のテラスが良好に確認でき、墳頂平坦面では3本の埴輪列が確認できました。また、墳丘斜面では10～15 cm大の河原石と思われる葺石、30 cm大の基底石も確認できました。

主な遺物 本調査で出土した主な遺物は円筒埴輪です。墳頂平坦面に散布した状態で出土し、口縁部や胴部といったものが多く見つかりました。底部も確認できますが、第一段突帯から底部までの高さが分かるものは今のところ確認できません。一部ですが、朝顔形埴輪の肩部ではないかと思われる破片も見つかりました。（小林美土里）



前方部 完掘写真（南より）